

第393回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和8年6月1日

議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

木々の緑が美しい季節となり、特産「山田錦」の田植えがこれから最盛期を迎えるなか、次第に三木のまちも夏模様へと変わりつつある本日、第393回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ご多用のなか、ご参集をいただき、ここに開会の運びに至りましたことに対し、深く感謝を申し上げます。

さて、本市では、長引く物価高騰の影響を受けている市民の暮らしを守るとともに、市内経済の活性化を図るため、デジタルお買物券事業を実施します。本日から申込みを開始しており、1口5,000円、最大8口まで購入することが可能です。プレミアム率を30%とし、最大12,000円分お得に買い物ができます。スマートフォン決済サービス「PayPay(ペイペイ)」を利用したデジタルお買物券で、市内500店舗以上で利用することができます。スマートフォンの操作に不安のある方や不慣れな方には、対面でのサポート窓口の設置や利用者説明会の実施により、申込や利用を支援してまいります。デ

デジタルお買物券事業に加え、本年4月から11月分までの水道基本料金の全額免除、小学校の給食費の完全無償化、中学校等の給食費の半額支援など、市民生活の負担を軽減する取組を行っています。物価高騰は市民が直面している喫緊の課題であり、これにしっかりと対応してまいります。

また、このたび山陽自動車道三木サービスエリアに接続するスマートインターチェンジの名称が「三木スマートインターチェンジ」に決定しました。令和9年春に開通の見通しとなっており、市街地へのアクセスの向上、交通渋滞の緩和や交通事故の削減を図るとともに、人やモノの動きが活発になることで、まちの活性化につながるものと期待しています。

さらに、高齢者人口が増加する中、人生を自分らしく過ごせるよう、「シニアのためのライフプランセミナー」を今年度初めて開催します。おおむね65歳以上の方を対象に、人生の最後への備え、いわゆる「終活」や、いきいきと活躍できる地域活動の場の紹介、介護予防など健康づくりについて学ぶことができる内容としています。1回目は、9月9日に総合保健福祉センターで開催する予定で、本日から申込を受け付けています。将来への備えについて、自分が元気なうちか

ら考えていただき、充実したシニアライフを実現できるよう支援してまいります。

最後になりましたが、このたびの市議会定例会におきましては、補正予算1件、その他6件の合わせて7件の提案を予定いたしております。

また、後日、条例関係2件、工事請負契約の締結1件、人事案件1件の提案を予定しております。

議員の皆さまにおかれましては、十分なるご審議をいただき、適切なるご決定を賜りますようお願いを申し上げ、開会のあいさつといたします。